

臨床研究業績集

第2号

(平成30年・31年 / 令和元年度)

巻 頭 言

この度、平成30年・平成31年/令和元年度の和歌山病院研究業績集を発刊することとなりました。平成28年に当院で臨床研究部（院内標榜）を立ち上げ、平成28年・平成29年度の業績集を発刊いたしましたが、本誌はこれに続く第2冊目の業績集となります。

当院は、病床数310床に対し常勤医師数14名と医師不足状況にあり研究専属職員不在にもかかわらず、各職員の努力により日常診療業務に従事しながらも積極的に臨床研究に取り組み、医師を中心に看護部・コメディカルから業績が集まりました。今期は、英文原著論文10編、和文原著論文1編、和文著書・総説10編、国際学会発表3題、国内学会発表54題、学術講演24題。さらに、機構内の獲得研究として、研究代表者1研究（EBM研究）、研究責任者3研究（EBM研究1、NHOネットワーク研究2）、機構外の獲得研究として、研究代表者1研究（環境再生保全機構）、研究責任者1研究（アストラゼネカ社）、研究協力者1研究（NHO東京病院）を獲得しました。

医療は医学の進歩に伴い発展してまいりました。我々は、先人の積み上げてきた医学研究結果に基づいて最善の治療の提供を行っていますが、同時に、興味深い症例の報告や、新たな疑問に対する回答の模索、あるいは新たな治療法の開発やその効果の検証などを行い、それを後世に伝えていく責務があります。そのためにも、科学的見地に立った研究すなわちサイエンスが重要であり、その結果は学会発表や論文文化という形で公表され保存・蓄積されていきます。すなわち、研究活動は医療従事者として重要な業務のひとつと考えられ、当院における研究活動もその意味で発展していくことが期待されます。

現在、当院の研究環境は決して十分とは言えません。ただ、その中でもこのように業績が蓄積されてくることは、大変喜ばしいことでもあります。業績としてはまだまだ微々たるものに過ぎませんが、着実に前進を続けてまいりたいと考えております。この2年間の成果を励みに、今後院内全体として臨床研究がさらに発展していくことを祈願いたします。

令和2年5月

国立病院機構和歌山病院 院長
南方 良章

平素は当院の運営や研究活動のために、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
令和2年4月に、独立行政法人国立病院機構和歌山病院臨床研究部長を拝命いたしました。

平成28年1月に当院に臨床研究部が発足して以来、「臨床研究・臨床試験へ積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献する」ことを掲げ、研究活動や学会、論文での発表などを活発化させ、この度、臨床研究業績集第1号に続き、第2号（平成30年・31年／令和元年度分）を発行いたしました。

当院は機構内のEBM研究、NHOネットワーク研究、また複数の機構外の研究に対する承認を獲得しており、医師、コ・メディカルとも積極的に研究活動を行っています。病院全体でも院外での学会や講演会にも積極的に参加し、発表を行っています。

研究の倫理性、科学性、利益相反などにつきましては、外部委員も交えて適宜審査する体制を整えています。また、ほとんどの臨床研究は研究対象者となる患者さんの協力が不可欠であるため、日ごろからの信頼関係の構築にも努めております。

今後さらに当院での研究活動を充実させ、微力ではありますが医療、社会への貢献ができればと考えております。今後とも皆様方のご指導を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和2年5月

国立病院機構和歌山病院 臨床研究部長
川邊 哲也

目 次

I . 業績

(1) 論文	1
1) 原著論文	1
2) 著書・総説	2
(2) 学会発表	3
(3) 学術講演会	7
(4) 主催研究会等	9
(5) 受託研究一覧	12
(6) 獲得研究費一覧	13

II . 主な論文	15
-----------	----

I . 業 績

I. 業績

(1) 論文 (太字アンダーラインは当院所属)

1) 原著論文

英文

① 平成 30 年度

呼吸器疾患

1. Miyamoto S, Minakata Y, Azuma Y, Kawabe K, Ono H, Yanagimoto R, Suruda T. Verification of a motion sensor for evaluating physical activity in COPD patients. Can Respir J 2018; 8343705: 1-8
2. Azuma Y, Ono H, Kawabe K, Yanagimoto R, Suruda T, Minakata Y. Primary pulmonary melanoma diagnosed by semi-rigid thoracoscopy. Thoracic Cancer 2018; 1528-1529
3. Ichinose M, Minakata Y, Motegi T, Jun Ueki J, Gon Y, Seki T, Anzai T, Nakamura S, Hirata K. Efficacy of tiotropium/olodaterol on lung volume, exercise capacity and physical activity. Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 2018; 13: 1407-1419

外科疾患

4. Miyama, Noriyuki; Komai, Hiroyoshi; Nakamura, Takashi; Iwahashi, Masahiro; Mukobara, Nobuhiko; Yoshida, Masato; Fujimura, Hironobu; Sugimoto, Takaki; Asada, Hidenori; Tanimura, Nobuhiro; Azami, Takashi; Kawata, Masatoshi; Tsuji, Yoshihiko; Wakita, Noboru; Ogino, Hitoshi; Shindo, Shunya; Hatada, Atsutoshi; Oka, Takanori. Long-Term Results of Crossover Bypass for Iliac Atherosclerotic Lesions in the Era of Endovascular Treatment: The Re-ACTION Study (Retrospective Assessment of Crossover Bypass as a Treatment for Iliac LesiONs). Annals of vascular diseases. 2018.; 217-222

循環器疾患

5. Kurita, T; Ando, K; Ueda, M; Shizuta, S; Okamura, H; Matsumoto, N; Gerritse, B; Fagan, DH; Schloss, EJ; Meijer, A; Auricchio, A; Sterns, LD; Okumura, K. Comparison of ICD shock rates in Japanese and non-Japanese patients in the PainFree SST study. PACE-PACING AND CLINICAL ELECTROPHYSIOLOGY. 2018. 41; 1185-1191
6. Yokoshiki H, Shimizu A, Mitsuhashi T, Furushima H, Sekiguchi Y, Manaka T, Nishii N, Ueyama T, Morita N, Okamura H, Nitta T, Hirao K, Okumura K; Members of the Implantable Cardioverter - Defibrillator (ICD) Committee of the Japanese Heart Rhythm Society. Prognostic significance of nonsustained ventricular tachycardia in

patients receiving cardiac resynchronization therapy for primary prevention: Analysis of the Japan cardiac device treatment registry database. J Arrhythm. 2018 34:139-147

② 平成 31 年度 (令和元年度)

呼吸器疾患

7. **Minakata Y**, Motegi T, Ueki J, Gon Y, Nakamura S, Anzai T, Hirata K, Ichinose M. Effect of tiotropium/olodaterol on sedentary and active time in patients with COPD: post hoc analysis of the VESUTO study. Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 2019; 14: 1789-1801
8. Kamei T, Nakamura H, Nanki N, **Minakata Y**, Matsunaga K, Mori Y. Clinical benefit of twice-daily acclidinium bromide compared with once-daily tiotropium bromide hydrate in COPD; a multicenter, open-label, randomized study. BMJ Open 2019; 9: e024114
9. Imashiro K, **Minakata Y**, Hayata A, Nakanishi M, Kamijo Y, Ogawa T, Koike Y, Yamamoto N. Effect of pursed lips breathing on exercise-induced desaturation in patients with oxygen therapy. Medicine and Clinical Science 2019; 1(1): 1-7
10. Nakanishi M, **Minakata Y**, Tanaka R, Sugiura H, Kuroda H, Yoshida M, Yamamoto N. Simple standard equation for daily step count in Japanese patients with chronic obstructive pulmonary disease. Int J Chron Obstruct Pulmon Dis 2019; 14: 1967-1977

和文

① 平成 30 年度

菊川絢子、上垣忠明、書川拓也、栗林誠、櫻井將喜. デジタルブレストトモシンセシスにおける深さ分解能の検討. 国立病院近畿放射線技師会誌. 2019 ; 145 ; 61-64

2) 著書・総説

和文

① 平成 30 年度

南方良章 : 第 II 章 診断、E. 検査 8. 身体活動性. COPD (慢性閉塞性肺疾患) 診断と治療のためのガイドライン [第 5 版] 日本呼吸器学会 COPD ガイドライン第 5 版作成委員会編集 メディカルレビュー社 2018; pp74-75

南方良章 : 第 4 章 管理・治療 : 身体活動性維持・向上とその評価. 診断と治療の ABC 140 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 平田一人企画 最新医学社 2018; pp147-152

南方良章 : COPD 患者における身体活動性の科学的分析. アレルギーの臨床 2018; 38(6):16-19

② 平成 31 年度（令和元年度）

南方良章.5 章 安定期の管理 非薬物治療. Mini Lecture 身体活動性向上・維持の重要性のエビデンス.呼吸器疾患診断治療アプローチ 5 COPD 慢性閉塞性肺疾患.総編集 三嶋理晃、専門編集 金子猛, 中山書店.266-268,2019

岡村英夫.知って安心!不整脈パーフェクトコントロール.2019;法研出版:全 141 頁

南方良章.COPD 患者の身体活動性の評価と向上を目指した取り組み.アレルギーの臨床 2019;39(6):(515-518) 71-74

南方良章.COPD 身体活動性評価のキーポイント. 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 2019;28(2):217-222

南方良章.医学と医療の最前線 慢性閉塞性肺疾患患者に対する身体活動性研究の進歩. 日本内科学会雑誌.2019;108(12):2554-2560

南方良章.COPD 患者の息切れを考える.日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 2020; 28(3):371-376

南方良章.座談会 喘息・COPD 合併の病態や診断に対する日本の施設のアプローチを考察する.COPD Selected Papers 2020;2:1-12

(2) 学会発表

海外（国内開催の国際学会を含む）

① 平成 30 年度

【診療部】

呼吸器疾患

- 1.Ichinose M, **Minakata Y**, Motegi T, Ueki J, Gon Y, Seki T, Anzai T, Nakamura S, Hirata K. Efficacy of Tiotropium/Olodaterol on Lung Hyperinflation, Exercise Capacity, and Physical Activity in Japanese Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease (VESUTO Study): A Randomized Crossover Trial. 2018 2ATS International Conference, San Diego, USA, 2018.05.21
- 2.Imashiro K, **Minakata Y**, Hayata A, Nakanishi M, Kamijo Y, Ogawa T, Koike Y, Yamamoto N. Pursed lips breathing can improve desaturation during flying disc game in COPD patients. ERS International Conference 2018, Paris, France, 2018.09.16
- 3.**Minakata Y**, Motegi T, Ueki J, Gon Y, Anzai T, Nakamura S, Hirata K, Ichinose M. Efficacy of tiotropium/olodaterol on sedentary/active time in COPD patients: VESUTO study. ERS International Conference 2018, Paris, France, 2018.09.18

国内

① 平成 30 年度

【診療部】

平田佳苗、池田裕子、高瀬美紗子、千葉優希、藤原霧子、川邊哲也、羽野卓三、水越正人. 高血圧患者のヘルスリテラシーと臨床的特徴に及ぼす加齢の影響. 第 7 回臨床高血圧フォーラム, 京都, 2018.5.19

東祐一郎, 小野英也, 川邊和美, 柳本立太, 駿田直俊, 南方良章. 気管支鏡施行中に偶然発見し、ブラシにより摘出した気道異物の 1 例. 第 41 回日本呼吸器内視鏡学会学術講演会, 東京, 2018.5.24

南方良章. COPD の身体活動性をどのように扱うか. 第 93 回日本結核病学会総会 (ランチョンセミナー), 大阪, 2018.6.23

堀晋之助、上西啓裕、上條義一郎、田島文博、小池有美、南晃平、川邊哲也. 冠動脈バイパス術を受ける患者の術前及び術後における起立負荷に対する循環応答. 第 86 回和歌山医学会総会, 和歌山, 2018.7.22

平野隆則、川邊哲也、村田顕也. 医学部生のスマートフォン・タブレット利用に対応した E ラーニングシステムの運用から見えた課題. 第 50 回日本医学教育学会大会, 東京, 2018.8.4

今城恭祐, 南方良章, 中西正典, 早田敦志, 上條義一郎, 小池有美, 松本義弘, 田島文博. 慢性閉塞性肺疾患患者の安全なフライングディスク競技参加のための呼吸指導効果. 第 2 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 仙台, 2018.11.02

南方良章, 駿田直俊, 東祐一郎. 日本人 COPD 患者の身体活動性測定法の共有化と標準式作成 (SPACE 試験) H30 年度中間登録状況. 第 72 回国立病院総合医学会, 神戸, 2018.11.9

今城恭祐, 早田敦志, 中西正典, 大平峰子, 小谷素子, 鍋木武, 南方良章. 在宅酸素療法患者へのフライングディスク競技時の呼吸指導効果. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会, 千葉, 2018.11.09

西本幸弘. 当院における気管カニューレ事故抜去時の緊急対応手順. 第 72 回国立病院総合医学会, 神戸, 2018.11.9

南方良章. 日本人 COPD 患者の身体活動性測定法の共有化と標準式作成 (SPACE 試験) H30 年度中間登録状況. 第 72 回国立病院総合医学会, 神戸, 2018.11.9

南方良章. COPD の息切れを考える. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術講演会 (ランチョンセミナー), 千葉, 2018.11.10

南方良章. COPD の身体活動性評価-加速度計を使いこなすポイント-. 第 28 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術講演会 (教育講演), 千葉, 2018.11.10

河本修. 当院での慢性炎症性脱髄性多発根神経炎 (CIDP) 3 症例に対する臨床的検討. 第 72 回国立病院総合医学会, 神戸, 2018.11.10

駿田直俊.結核ユニット化病床を有する当院におけるモデル病床の運用状況.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

南方良章.COPD 身体活動性の取り扱いと向上に向けた突破口.第 6 回日本ケア・リハビリテーション学会九州・沖縄支部学術集会, 小倉,2019.2.24

【看護部】

浦島三津子.個々の重症心身障害児（者）に適したオムツ（尿とりパッド含む）の検討～オムツ交換回数・コスト削減への取り組み～.第 44 回日本重症心身障害学会,東京, 2018.9.29

塩路好美.筋萎縮性側索硬化症患者の退院に向けた関り ～限られた社会資源での在宅支援～.近畿地区国立病院第 60 回看護学会,大阪,2018.10.13

瀧口可奈子.体位変換後にズレが生じる重症心身障害者への体位変換方法の検討.近畿地区国立病院第 60 回看護学会,大阪,2018.10.13

西川貴子.シンポジウム「治療就労両立支援のための看護の実際」～勤労者の抗がん剤治療～.第 66 回日本職業・災害医学会学術大会, 和歌山,2018.10.20

塩路好美.シンポジウム「退院後の栄養管理栄養管理士の関わり方」～看護からみた在宅療養者の栄養管理の現状～.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.9

境由貴.抗がん剤内服開始の患者のセルフケア能力向上に向けての取り組み～退院指導パンフレットを作成して～.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

大尻卓.ベッド周囲の環境整備～患者個々に応じた療養環境を目指そう～.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

松本弘.患者にとって負担にならない安全かつ安楽な体位変換の検討.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

坂本樹美.気管カニューレ計画外抜去時の対応への取り組み.日本医療マネジメント学会第 14 回和歌山支部学術集会, 和歌山,2019.2.2

【コメディカル】

櫻井將喜.肺動静脈 CTA における至適造影剤注入方法の検討.第 27 回国立病院近畿放射線技師会学術大会,大阪,2018.9.22

櫻井將喜.肺動静脈 CTA における至適造影剤注入方法の検討.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸, 2018.11.10

川村康世.在宅支援の拡大における現状と課題 第 1 報～在宅重症心身障害児者が地域で豊かに暮らせるために～.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

川久保幸代.在宅支援の拡大における現状と課題 第 2 報～入所ケースワークから考察する役割と課題～.第 72 回国立病院総合医学会, 神戸,2018.11.10

小野泰明.国立病院機構和歌山病院薬剤部における地域連携の効率化を目指して～「院外処方箋義紹介プロトコル化」その後～.第 72 回国立病院総合医学会,神戸,2018.11.10

小野泰明.日高有田地区における調剤薬局との連携による院外処方箋義照会の効率化について.第 40 回日本病院薬剤師会近畿学術大会,奈良,2019.1.19

辻合美智子.散薬調剤ロボット導入による業務効率化にむけて.近畿国立病院薬剤師会学術集会,神戸,2019.3.2

② 平成 31 年度（令和元年度）

【診療部】

南方良章.COPD short lecture:COPD 身体活動性向上への突破口.第 59 回日本呼吸器学会学術講演会,東京,2019.04.12

駿田直俊.「結核低蔓延に向けた医療体制の課題と展望」：低蔓延に向けた結核医療の地域連携.第 94 回日本結核病学会総会,大分市,2019.06.08

今城恭祐,南方良章,中西正典,早田敦志,上條義一郎,小池有美,田島文博.軽症・中等症 COPD 患者に対するフライングディスク競技時の口すぼめ呼吸指導効果.日本リハビリテーション医学会学術集会,神戸,2019.06.10

南方良章.成人喘息と COPD 気流制限と呼気一酸化窒素濃度の視点から.第 13 回小児アレルギーエデュケータースキルアップセミナー,和歌山,2019.07.26

河本修.当院における神経難病の人工呼吸器使用症例の臨床的検討.第 73 回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.08

南方良章、駿田直俊、東祐一郎.日本人 COPD 患者の身体活動性測定法の共有化と標準式作成（SPACE 試験）登録状況.第 73 回国立病院総合医学会.名古屋,2019.11.08

南方良章.ランチョンセミナー：COPD 身体活動性のターニングポイント ～新たな視点とアプローチ～.第 29 回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術講演会,名古屋,2019.11.11

南方良章.ランチョンセミナー：COPD 身体活動性向上に向けた新たな介入戦略.第 94 回日本呼吸器学会近畿地方会・第 124 回日本結核病学会近畿地方会,大阪,2019.11.23

【看護部】

牧内優子.病棟看護と両立した拠点型結核相談支援センターの活動.第 94 回日本結核病学会,大分市,2019.06.07

中川加代子.体位排痰法と RTX クリアランスモードの併用の効果.近畿地区国立病院第 61 回看護学会,大阪市,2019.09.01

池田有沙.個別性を考慮した患者指導の充実に向けて～在宅酸素療法の現状調査～.近畿地区国立病院第 61 回看護学会,大阪市,2019.09.01

中井正美.重症心身障害児・者のショートステイ利用者へのケアを改善するための課題～ショートステイを受け入れる看護師への意識調査～.第44回日本重症心身障害学会,岡山市,2019.09.20

林昂央.長期臥床状態のALS患者における膀胱留置カテーテルの閉塞予防に取り組んで.第73回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.09

塩崎美紀.TPPV管理下にあるALSの入院患者にスクイーピングを行った効果検証.第73回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.09

加納昌明.高齢肺炎患者のADL低下予防への取り組み～早期セルフケア促進による効果の検証～.第29回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会,名古屋市,2019.11.12

前田美恵子.重症心身障害児者における骨折リスクの現状～骨折リスク因子チェックリストから骨折リスクを把握する～.日本医療マネジメント学会第15回和歌山支部学術集会,田辺市,2020.02.08

渚るみ子.医療安全カンファレンスに充実に向けた当院の取り組みについて.日本医療マネジメント学会第15回和歌山支部学術集会,田辺市,2020.02.08

【コメディカル】

川久保幸代.死亡退院時のケースワークを通して考察する療育指導室の役割.第73回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.08-09

木下皓介.行事の取り組み方や家族支援についての考察～誕生会の取り組みを通して～.第73回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.08-09

山本和.長期経腸栄養・完全静脈栄養の神経筋疾患患者におけるカルニチン血中濃度調査.第73回国立病院総合医学会,名古屋市,2019.11.09

上場將生.完全房室ブロックからI度ブロックへ移行した百寿者の一例.第40回和歌山県医学検査学会,和歌山県,2020.02.16

上場將生.左房容積算出法の検討(Biplaneディスク法とEllipsoid法の比較).第40回和歌山県医学検査学会,和歌山県,2020.02.16

(3) 学術講演会

① 平成30年度

【診療部】

東祐一郎.当院におけるニボルマブ使用例の検討.第2回Nivolumab NSCLC Seminar in Wakayama,和歌山.2018.5.18

川邊哲也.高齢者高血圧の治療と管理における留意点.第261回日高地区薬剤師合同研修会,日高郡美浜町,2018.10.16

川邊哲也. 高齢者の血栓性疾患を予防するための高血圧治療のあり方. 第1回日高地区の循環器疾患を考える, 御坊市, 2018.10.25

南方良章. COPDにおける身体活動性の特徴とその科学的分析. Respiratory Forum in KAGAWA, 香川, 2018.11.16

南方良章. COPDの身体活動性に対しどのように取り組むか. Science Exchange Meeting in Hiroshima, 広島, 2019.1.31

南方良章. COPDと身体活動性～どのように扱いどのように向上させるか～. COPD Forum in 阪神, 西宮, 2019.3.23

【コメディカル】

松本信彦. 疑義紹介簡素化プロトコルを運用して. 第70回日高、有田地区病院薬剤師研究会, 2019.1.16

② 平成31年度（令和元年度）

【診療部】

南方良章. 酸素療法患者と身体活動性. 第26回和歌山さつき会（在宅酸素療法患者会）総会, 和歌山, 2019.05.19

川邊哲也. 最近の医学部教育の流れ. 第39回開放型病院勉強会, 日高郡美浜町, 2019.5.23

南方良章. 耳鼻科医が知っておくべき呼吸器疾患. 第10回紀州耳鼻咽喉科疾患研究会, 和歌山, 2019.05.25

南方良章. COPD管理で今注目されている指標－身体活動性－. Respiratory Forum in Tanabe, 田辺, 2019.06.27

南方良章. 肺の生活習慣病－COPD－. 第46回ヤクルト健康教室. 日高, 2019.07.03

南方良章. COPDの現状と身体活動性評価の重要性. 第61回有田医師会学術講演会, 有田, 2019.07.11

南方良章. COPD Guidelineと身体活動性について. テリルジー発売記念講演会, 和歌山, 2019.07.20

南方良章. シンポジウム「COPD管理効率向上に向けて」3. 治療効果判定の指標：運動耐容能・身体活動性. 第49回吸入療法研究会, 東京, 2019.07.27

南方良章. 咳についてのお話. 市民公開講座, 御坊, 2019.08.31

河本修. しびれについて-多発性神経炎を中心に-. 第40回開放型病院研究会, 和歌山県日高郡美浜町, 2019.09.26

南方良章. COPDの最新の治療. 田辺市・西牟婁郡・日高三医師会学術講演会, 田辺, 2019.09.28

南方良章. COPDに対する最新の治療戦略. 日高地区薬剤師合同研究会, 日高, 2019.10.18

南方良章.肺結核を見直す.第 542 回和歌山市医師会内科部会例会・第 44 回呼吸器疾患研究会.和歌山,2019.11.21

南方良章.COPD 身体活動性のターニングポイント ～新たな視点とアプローチ～. COPD Webinar,大阪,2019.11.28

南方良章.COPD に対する最新の薬物療法 ー吸入ステロイド薬位置づけを中心にー.御坊・日高地区テリルジー発売記念講演会,御坊,2019.11.29

南方良章.私ならこうする COPD 治療戦略.m3 WEB 講演会,和歌山,2020.01.09

南方良章.COPD 身体活動性向上にむけた新たなアプローチ.COPD WEB Seminar.大阪, 2020.01.24

(4) 主催研究会等

第 1 回和歌山感染危機管理支援ネットワーク総会

代表世話人：南方良章、大津聡子

開催日時：H30 年 7 月 21 日（土）

開催場所：和歌山市保健所大ホール／日赤和歌山医療センター多目的ホール

事例報告：2 題

特別講演：「薬剤師は耐性菌に立ち向かえるか」

京都第二赤十字病院 薬剤部／感染制御部

澤田 真嗣

特別講演：「看護師にできること、J-SIPHE にできること」

国立国際医療研究センター病院 AMR 臨床リファレンスセンター

田島 太一

第 6 回和歌山アレルギー気道疾患研究会

代表世話人：南方良章

開催日時：H30 年 12 月 13 日（木）

開催場所：ホテルグランヴィア和歌山

特別講演 1. 「アレルギー性鼻炎ー気道アレルギーの始まりとして考えるー」

独立行政法人国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科 医長

増田佐和子

特別講演 2. 「喘息患者の層別化管理ーバイオマーカーの役割」

京都大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 准教授

松本 久子

第7回和歌山アレルギー気道疾患研究会

代表世話人：南方良章

開催日時：R元年12月12日（木）

開催場所：ホテルグランヴィア和歌山

特別講演1.「アレルギー疾患を予防する－食物アレルギーとダニアレルギー－」

なんぶ小児科アレルギー科 院長

南部 光彦

特別講演2.「喘息病態の細菌の考え方とその対策」

福井大学医学系部門病態制御医学講座内科学(3)分野 教授

石塚 全

第21回がん医療とターミナルケアを考える会

代表世話人：杉田孝和

当番世話人：南方良章

開催日時：H30年10月6日（土）

開催場所：和歌山県民文化会館

一般演題：4題

特別講演：「人生の最終段階における医療・ケアを在宅で選ぶ、つなぐ」

オレンジホームケアクリニック 理事長

紅谷 浩之

第30回和歌山呼吸不全懇話会

代表世話人：杉田孝和

当番世話人：南方良章

開催日時：H31年2月23日（土）

開催場所：和歌山ビッグ愛

一般演題：2題

特別講演：「これからの呼吸リハビリテーション－日常生活への介入の工夫－」

「基礎となる考え方」

東北大学大学院医学系研究科産業医学分野 教授

黒澤 一

「実際の進め方」

Respiratory Advisement Y's 代表／

順天堂大学大学院医療看護学研究科臨床病態学分野呼吸器系 非常勤講師

佐野 裕子

「これからの方向性」

黒澤 一 / 佐野 裕子

第 48 回和歌山肺癌研究会

代表世話人：山本信之

当番世話人：南方良章

開催日時：R 元年 8 月 10 日（土）

開催場所：和歌山県 JA ビル

一般演題：6 題

特別講演：「間質性肺炎合併肺がんを静かに考える」

順天堂大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 教授／

順天堂大学医学部附属順天堂医院 院長

高橋 和久

第 25 回和歌山さつき会（和歌山県在宅酸素療法患者会）

会長：柳瀬森哉

当番幹事：南方良章

開催日時：H30 年 5 月 13 日（日）

開催場所：休暇村紀州加太

特別講演：「フライングディスク競技における口すぼめ呼吸の効果」

和歌山県立医科大学リハビリテーション科

今城 恭祐

第 26 回和歌山さつき会（和歌山県在宅酸素療法患者会）

会長：柳瀬森哉

当番幹事：南方良章

開催日時：R 元年 5 月 19 日（日）

開催場所：休暇村紀州加太

特別講演：「酸素療法と身体活動性」

独立行政法人国立病院機構和歌山病院 院長

南方 良章

(5) 受託研究一覧

フェーズ	依頼者	研究課題名	契約額 (円)	診療科
Ⅳ	協和発酵キリン株式会社	アボカイン皮下注30mg特定使用成績調査(長期使用に関する調査)	46,332	脳神経内科
Ⅳ	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	COPD患者を対象に、Tiotropium+Olodaterol配合吸入剤を1日1回吸入投与した際の運動耐容能・身体活動性に対する効果をTiotropium吸入剤と比較する探索的試験にかかる治験調整医師としての業務委託	154,440	呼吸器内科
Ⅳ	日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社	オフェブカプセル特定使用成績調査(全例調査)	231,660	呼吸器内科
Ⅳ	田辺三菱製薬株式会社	ラジカット注30mg/ラジカット点滴静注バッグ30mg特定使用成績調査(筋萎縮性側索硬化症)	186,186	脳神経内科
Ⅳ	MDS株式会社	キイトルーダ点滴静注使用成績調査(非小細胞肺癌)	30,888	呼吸器内科
Ⅳ	エーザイ株式会社	フィコンバ錠使用成績調査 一部分発作(二次性全般化発作を含む)又は強直間代発作を有する成人てんかん患者に対するフィコンバ錠長期投与時の安全性及び有効性に関する調査	31,460	脳神経内科
Ⅳ	中外製薬株式会社	テセントリク点滴静注1200mg使用成績調査(全例調査)	30,888	呼吸器内科

(6) 獲得研究一覧

①EBM研究

I 平成30年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究課題名	研究費(円)
南方良章	研究代表者 研究責任者	日本人COPD患者の身体活動性測定法の共有化と標準式作成(H27-EBM(観察)-02)	3,198,800
河本純子	研究責任者	【観察研究】(The NHODR study) ～認知症介護状況の実態調査と予後への影響～(H27-NHO(観察)-01)	295,000

II 令和元年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究課題名	研究費(円)
南方良章	研究代表者 研究責任者	日本人COPD患者の身体活動性測定法の共有化と標準式作成(H27-EBM(観察)-02)	2,935,000
河本純子	研究責任者	【観察研究】(The NHODR study) ～認知症介護状況の実態調査と予後への影響～(H27-NHO(観察)-01)	255,000

②NHOネットワーク共同研究

I 平成30年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究課題名	研究費(円)
南方 良章	研究責任者	喘息診療の実態調査と重症喘息を対象としたクラスター解析によるフェノタイプ・エンドタイプの同定(採択番号:H28-NHO(免疫)-01)	60,000
河本 純子	研究責任者	長期経管栄養下の神経筋難病患者に認められるカルニチン欠乏症の頻度とそれに対する治療効果の検討(採択番号:H28-NHO(神経)-02)	590,000

II 令和元年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究課題名	研究費(円)
南方 良章	研究責任者	喘息診療の実態調査と重症喘息を対象としたクラスター解析によるフェノタイプ・エンドタイプの同定(採択番号:H28-NHO(免疫)-01)	114,000

③その他

I 平成30年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究委託者	研究課題名	研究費(円)
南方 良章	研究責任者	アストラゼネカ株式会社	我が国のCOPD患者における歩数と身体活動への関連因子特定のための非介入横断調査	1,960,000

II 令和元年度

研究者名	研究代表者・研究責任者・研究協力者	研究委託者	研究課題名	研究費(円)
南方 良章	研究代表者	(独)環境再生保全機構	COPD身体活動性関与因子の詳細分析と目標値設定に基づく自己管理法の構築	4,488,541
南方 良章	研究協力者	(独)国立病院機構東京病院	フェノタイプ・エンドタイプに着目した本邦の喘息患者における3年間予後の検討	33,000